

本村小学校



本だより

第11月号

発行所 港区立本村小学校
〒106-0047
港区南麻布3-9-33
TEL:03-3473-1462
FAX:03-3443-8535

学芸会がやって来る

校長 山村 登洋

「復活！学芸会」

10月は、気候が安定しない日が続きました。台風15号による時差登校もありました。改めて保護者の皆様のご理解、ご協力に感謝を申し上げます。

さて、区の連合運動会、移動教室、各学年の遠足や社会科見学、学校公開など行事の多かった10月でしたが、今月は何と云っても18年ぶりに復活した「学芸会」が開催されます。この復活した学芸会で育てたい力とは何でしょうか。

学芸会で育てたい力

一番には本校の教育の柱となっている3つの「C」チャンス↓チャレンジ

↓チェンジ、そしてそれが「自己肯定感の向上」に繋がってほしいと願っています。その他に次のような力が身に付いたり変容したりすることを期待しています。

- ① 真剣に取り組む力
- ② 話し合って協力する力
- ③ 自分の殻を破る力
- ④ 思いを伝える力
- ⑤ 大舞台を楽しむ力
- ⑥ 堂々と表現する力
- ⑦ 自信望ましいコミュニケーション力
- ⑧ 目標に向かって、試行錯誤すること
- ⑨ 学校が楽しいと思えること



「輝け！ 自信をもって いざ舞台へ」

このような力が身に付くよう子供たちと教職員の教育活動が展開されていきます。各学年、若竹学級の担任は、子供たちにより具体的なねらいをもたせまです。「役になりきって大きな声ではつきりとセリフが言えるように」「セリフや身振りにアドリブを自分で考えて演じる」「相手のことを考えて行動する」「劇の準備や練習も自分たちで行う」「鑑賞している方々に感動をあたえる、何かメッセージを届ける」などです。学芸会で行う劇は、プロの俳優が演じる劇とは違います。プロの俳優は磨かれた個人技と個人技のぶつかり合いで、

お互いの個性を引き出し合いながら、一つの作品のもつテーマを表現する芸術作品を演じます。

学芸会の目的は

では、学芸会の学校劇は、何が目的なのでしょう。子供が演じるといえども、やはり劇の完成度や質も重要だとは思いますが、

でも、当日の演技がどうかというよりも、劇を創り上げていく過程がなによりも重要です。劇の練習や準備で得た「協力することの大切さ」「みんなの力でやり遂げることができたという達成感」

「自分もみんなのために役に立つことができた」を育むことが自己肯定感の向上へと必ず結びついていくと確信しています。普段の授業では、なかなか体験できない、学ぶことができない行事、それが学芸会なのです。

子供たちと教職員が創り上げていく「学芸会」。18年のプランクを感じさせない、素晴らし、そして感動的な学芸会にしたいと思えます。ご家庭では、創り上げていく過程の中で、子供たちへの励ましや応援をよろしくお願いします。

「最近流行の学芸会の演目」

○低学年

スイミー、ニャーゴ、かさじぞう

○中学年

人間になりたかった猫、孫悟空、ごんぎつね、アナと雪の女王



○高学年

魔法のマジヨリン、夢から覚めた夢、ライオンキング、オズの魔法使い

最近では、教職員が台本を自作して学芸会を行うことも珍しくありません。